

●「2019 なかがみ餅つき大会」開催



▲ 餅つき大会を運営する実行委員

大会前日は、2台の軽トラックで倉庫と会場を往復しながら餅つき大会運営用の機材を会場に搬入。それから、餅つき道具の整備、調理用具材の仕込み、会場整備など大忙し。

大会当日、実行委員は午前8時に集合。中野光弘 部長（地域活動部会）から作業手順等の説明後に各自の作業班に別れ、持ち場につきました。

いよいよ本番スタート。境内に設置された5か所の‘かまど’から一斉に煙がたち始めました。作業は皆さんプロ級の腕、手際よく進めていきます。

午前10時、来場者が思い思いのテーブルに着き、つきたての餅（いそべ餅・きなこ餅・納豆餅・大根おろし餅）と温かい豚汁に舌鼓をうち、冷えた体を温めていました。地域の皆様がテーブルを囲んで楽しそうに会話をしながら食べていただく姿、小さな子供が大人の手助けを得て、神妙な顔で餅をつくほほえましい姿。こんな光景を見て、見守りに来てくれた中神小学校の松井校長先生も思わず笑顔になっていました。

実行委員の皆様も、事前準備から餅つき大会当日までの作業疲れを忘れ、来年もまた支援を続けたいという気持ちになられたのではないかと思います。

正午、盛況のなかで無事終了することができました。餅つき大会を支え、ご協力いただきました実行委員の皆様には感謝を申し上げます。

主催 : あきしま・街づくり市民会議・なかがみ

後援 : 昭島市自治会連合会 第5・第6ブロック

晴天に恵まれた2月10日(日)、中神熊野神社境内で第13回なかがみ餅つき大会を開催、参加者は約300名でした。(毎年この時期に地域の皆様の期待に応じて開催。地域在住の方なら自由に参加でき、無料です。)

餅つき大会を運営する実行委員は、昭島市自治会連合会の第5・第6ブロックに所属している7つの自治会の皆様、地域の有志の皆様、街づくり市民会議会員、そして、中神小学校の中神っ子ウインズのお母さん方、総勢40余名です。

毎年、多数の支援者が駆けつけてくれます。



▲ 早く食べたいな



▲ からみ餅いろいろ どうぞ



▲ 満員 食べてるかい



▲ 将来 つき手になるかな

地域活動部会／防犯防災部会

(記事 / 地域活動部会 鈴木正俊)